

## サウジアラビア経済概況 (23年4月の経済概況)

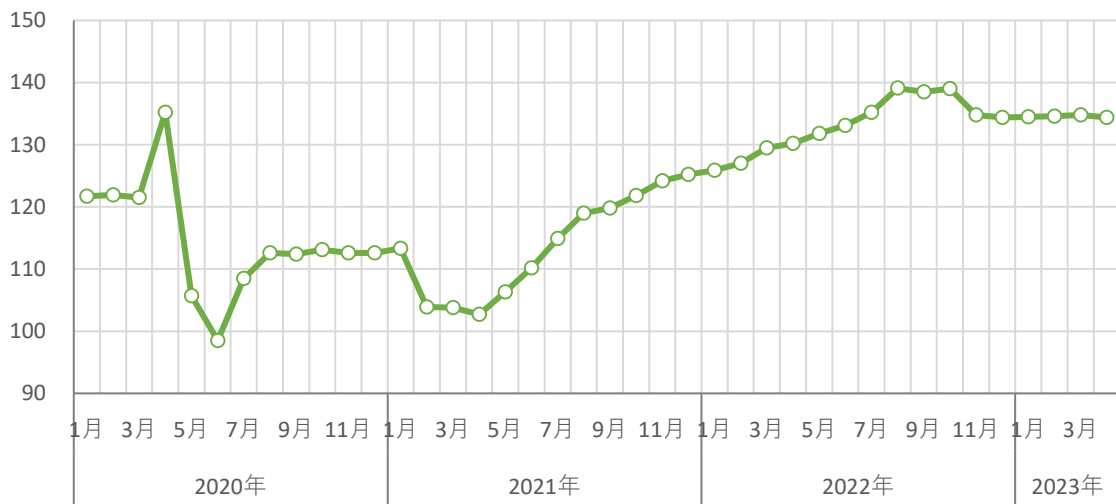
一般財団法人 中東協力センター

### 1. 月次経済概況 (2023年6月11日更新)

#### (1) 生産動向

サウジアラビア総合統計庁は2023年6月11日付で2023年4月の鉱工業生産指数 (IPI: Industrial Production Index) 月次統計を公表した。総合指数は前年同月比で+3.2%となった。74.5%のウェイトを占める鉱業・採石業が前年同月比+0.2% (前月同+1.6%) とさらに減速し、IPI増加率はほぼ横ばいとなった。なお、4月の原油生産量は、OPECの報告では1日当たり10,461千バレルで、前月比▲3千バレルであった<sup>1</sup>。【図1、表1】

【図1】 鉱工業生産指数 (IPI) 総合指数の推移 (2010年=100)



出典：サウジアラビア総合統計庁

【表1】 鉱工業生産指数 (IPI) の構成とウェイト (2010年=100)

	IPI 指数	前年同月比 (%)	ウェイト (%)
総合指数	134.4	+3.2%	100.0
鉱業・採石業	128.6	+0.2%	74.5
製造業	156.4	+10.5%	22.6
電力・ガス	112.9	+25.5%	2.9

出典：サウジアラビア総合統計庁

<sup>1</sup> OPEC “Monthly Oil Market Report January 2023”, Table5-8 <https://momr.opec.org/pdf-download/>

## (2) 物価動向と消費関連指標

1. 4月の消費者物価指数（CPI）の総合指数は、前年同月比+2.7%（前月は同+2.7%）であった。2020年7月の付加価値税（VAT）引上げ（5%から15%に）の一年後（21年7月）には同+0.4%であったが、徐々に騰勢を強め、22年8月以降は同+3%前後で推移している。

大分類では、住居・水道光熱費（前年同月比+8.1%；ウェイト 25.50）、レストラン・ホテル費（同+6.2%；ウェイト 5.60）が大きく上昇している。細目を見ると、住居・水道光熱費では、分類の大半を占める実質家賃が+9.6%（前月同+8.7%）と増加している。都市別の数値を見ると、先月に引き続いてジェッダ（+28.2%）とリヤド（+13.4%）での上昇率が大きい。食料品・飲料品ではミルク・乳製品・卵等（+10.9%）、食用油・油脂（+6.7%）など一部の品目が大きく上昇している。鶏肉類のうち国産冷凍品は+22.7%、輸入冷凍品は11.1%と二桁の上昇率を示した。世界的な高病原性鳥インフルエンザ流行の影響と見られるが、一方で国産鶏卵の上昇率は+4.5%まで低下した。【図1】

2. 4月の卸売物価指数（WPI）の総合指数は前年同月比+0.2%（前月は同+1.1%）でほぼ横ばいの数値であった。分野別に見ると、食品・飲料・タバコ・繊維が+3.4%（前月同+5.1%）と、他項目と比べて高い上昇率を示した。細目では、乳製品（+17.5% 同+18.8%）が先月と引き続き高い上昇率を示したものの、穀物（+1.9% 前月同+8.4%）、卵（+1.1% 前月同+17.9%）、肉類（+0.6% 前月同+7.4%）、油脂（▲0.1% 同+7.8%）などは先月から上昇率が大きく低下しており、食品価格の上昇トレンドに転機が見られる。同様に、農林水産品は▲1.4%（前月同+3.0%）で減少に転じた。金属製品・機械設備は▲1.5%（前月同▲1.1%）、石油精製品は+3.8%（前月同+3.8%）であった。【図2】

3. 4月の消費動向を、公表されている最新数値であるPOS決済データ（金額ベース<sup>2</sup>）の数値で見るとは51,573百万リヤル（前年同月比+4.3%）となった。2021年以降、ラマダン期間の期ずれの影響を受けた月を除いて二桁増が続いてきたが、前月に続いて今月も一桁台の上昇にとどまった。【図3】

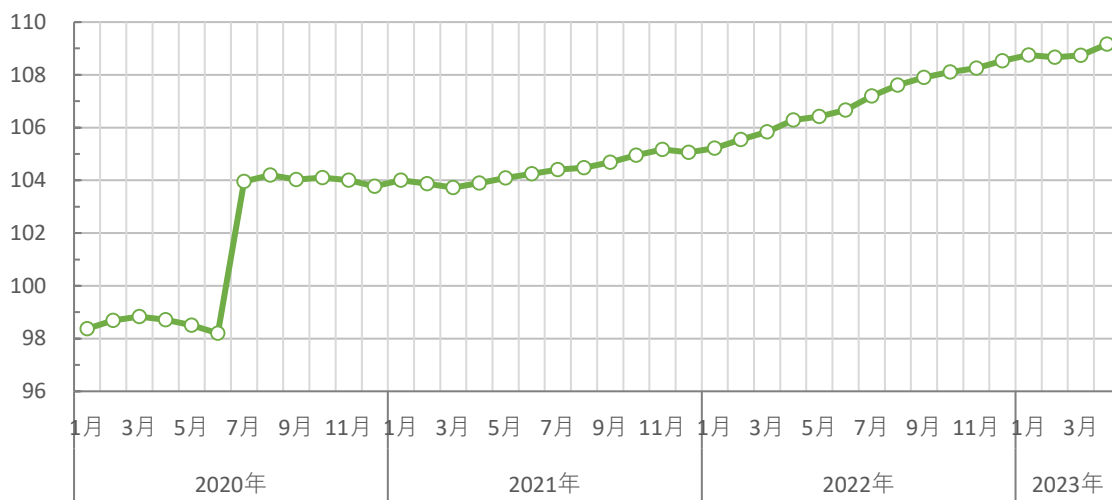
分野別に見ると、レストラン&カフェ（6,871百万リヤル）は同+37.0%と大きく上昇した一方で、飲料・食料（7,634百万リヤル）は前年同月比で+6.9%、運輸（2,674百万リヤル）が+4.9%、ホテル（1,404百万リヤル）は+8.4%であった。

---

<sup>2</sup> 報告書ではサウジアラビア中央銀行（SAMA）が公表する統計を引用しており、通貨に関しても、サウジアラビア通貨（サウジリヤル：SAR）をそのまま引用している。なお、サウジアラビア政府は自国通貨をドルに連動（ペッグ）させる為替相場管理制度を採用しており、公式為替レートは1USD=3.75SARとなっている。

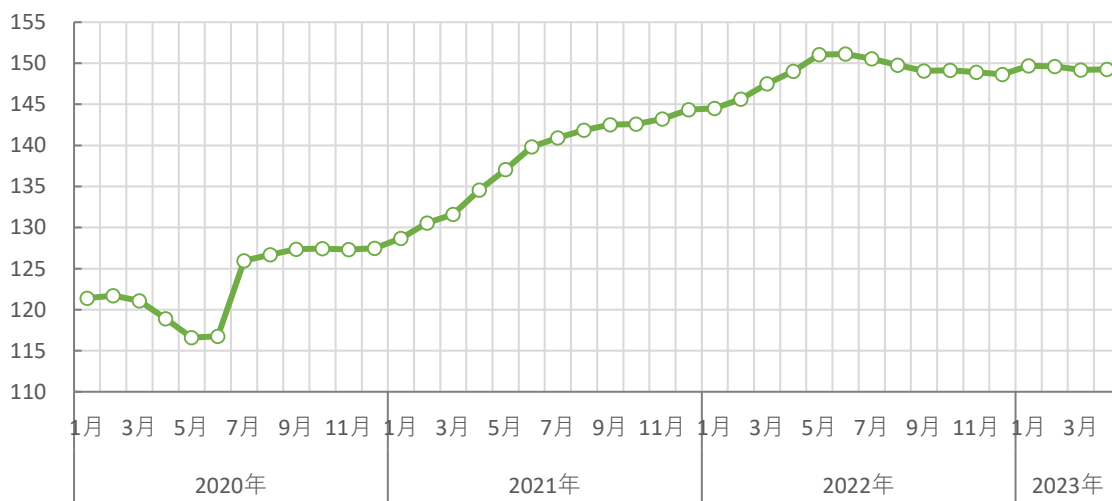
なお、サウジアラビア中央銀行（SAMA）は（Mada Card<sup>3</sup>を使用した）Eコマースの売上高も公表しており、それによれば4月のEコマース売上高は約12,626百万リヤルと前年同月比+23.0%増加した。店頭販売を集計したPOS売上高と比較した比率は24.5%相当（前年同月は+24.4%相当）であった。

【図1】 消費者物価指数（CPI）推移 (2018年=100)



出典：サウジアラビア総合統計庁

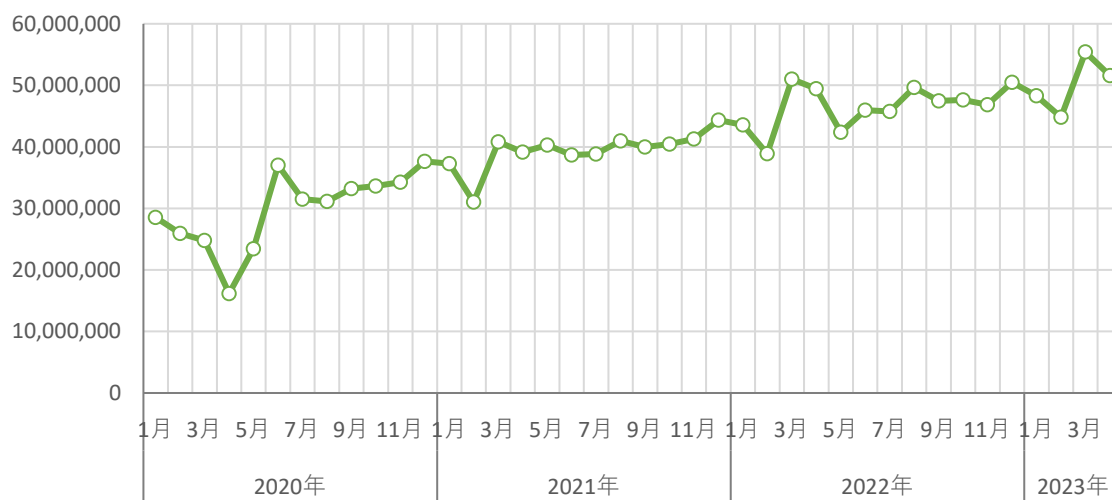
【図2】 卸売物価指数（WPI）推移 (2014年=100)



出典：サウジアラビア総合統計庁

<sup>3</sup> Mada Card は 2018 年 4 月 1 日から解禁された電子商取引時のオンライン決済手段の一つであり、サウジアラビア中央銀行が管轄している。決済方法は、デビットカードとプリペイドカードに対応しており、海外で使用する際は、Visa や Mastercard といったブランドで決済することが可能。Mada の利用により従来の POS 端末での支払いに加え消費者の利便性が高まっている。

【図3】 POS (Point of Sales) 月次売上データ (金額ベース) 推移 (単位: 1,000SAR)



出典: サウジアラビア中央銀行

### (3) 金融関連指標の動き

#### ① 政策金利

サウジアラビアはドル・ペッグ制を採用しており、金融政策は米国の動向に追随する。2018年までは米国が量的緩和からの正常化を模索しており、サウジアラビアも政策金利を上げざるを得ない環境にあった。しかし、2019年に入ってからアメリカ合衆国連邦準備銀行 (FRB) の方向転換と、2020年来の新型コロナウイルス感染症蔓延下での「超」金融緩和によって、サウジアラビアも緩和的な金融環境となり、銀行間取引金利<sup>4</sup> (表1参照) は2021年末まで0.8%台の低位の水準が続いてきた。

しかし、米国でインフレが昂進し米国内金利が騰勢を強めていたところ、FRBは量的緩和を2022年3月に終了し、政策金利 (フェデラルファンド金利の誘導目標の上限) の誘導目標も0.25%pt引き上げるという政策転換を行った。以降、FRBは5月の米連邦公開市場委員会 (FOMC) にて0.50%pt、6月・7月・9月・11月には4会合連続で0.75%ptずつ政策金利を引き上げた。その後、米CPIの減速に伴い、12月には上げ幅を0.50%pt、2023年1月には0.25%ptと縮小した。3月のFOMCでは、シリコンバレーバンク破綻を契機とした米中小地銀やクレディスイスの経営危機を受けて利上げを停止するとの観測もあったが、FRBは高インフレの抑制を優先し0.25%ptの利上げを継続、5月のFOMCでも0.25%ptの利上げを実施し、米政策金利は5.0~5.25%となった。この間、サウジアラビアの銀行間金利 (SAIBOR) も上昇を続け、

<sup>4</sup> 「銀行間取引金利 (Interbank Offered Rates)」は、各国の金融市場において銀行同士が日々、短期資金 (1週間~12か月) を融通し合うコール市場の基準金利で、ローン・債券・デリバティブなど多くの金融商品の参照金利や、中央銀行の金利政策における公開市場操作の指標ともなる。旧LIBOR (ロンドン)、FF金利 (米国)、TIBOR (東京)、EURIBOR (欧州) が代表的で、サウジアラビアではSAIBOR (セイボー) となる。

2023年4月のSAIBORは5.7261%と、6か月続けて5%を超える水準となった。

【表1】

なお、6月14日のFOMCでは11会合ぶりに利上げが見送られた。3月に公表された23年末米政策金利見込みの中央値5.1%に到達したことが考慮されたためと考えられる。しかし、今回の経済見通しでは同値が5.6%に引き上げられ、23年内にあと2回分の利上げがあることを示唆した。6月13日に公表された5月米CPIはエネルギーと食品を除くコア指数が+5.3%と、目標の2%を依然として大きく上回っており、FRBパウエル議長も金融引き締めを維持し物価を抑制する必要性を示した。米政策金利が高い水準を維持し続ければ、SAIBORも同様に高止まりし続けると考えられる。

② 外貨準備高

サウジアラビアの外貨準備高は、2020年3、4月にかけて相当減少したが、これは主として、公共投資基金（Public Investment Fund）による今後の投資計画のため、総額1,500億サウジリヤルを準備資産からPIFに移し替えるという決定を反映したものである。以降は増減を繰り返しつつ、1兆5,000億～1兆6,000億リヤル前後の水準で推移している。【表2】

Al-Jadaan財務相は、2022年5月24日のロイターの取材に対し、「サウジアラビアは、持続可能な財政を維持するために外貨準備高がGDPの一定割合を下回らないように維持することを財政の指針としている」「将来的には付加価値税（VAT）を15%から引き下げることにも考慮しているが、過去5年間で1兆リヤルを外貨準備から公共投資基金（PIF）と国家開発基金（NDF）に投じたため、今はまだ外貨準備を補充している段階だ」と述べた<sup>5</sup>。同年11月7日の日本経済新聞の取材でも、VATの将来的な引き下げはありうるが、当面は過去9年の財政赤字で傷んだ国家財政の立て直しを優先する姿勢を示した<sup>6</sup>。

---

<sup>5</sup> Saudi Gazette ”[Al-Jadaan: Saudi Arabia will ‘ultimately’ consider cutting VAT](#)” (2022年5月25日)

<sup>6</sup> 日本経済新聞 「[サウジ財務相、年内に『財政黒字転換』非石油収入が拡大](#)」 (2022年11月7日)

【表 1】 銀行間取引金利（3M SAIBOR）

（単位：％）

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
1 月	2.2710	0.8171	0.9366	5.3813
2 月	2.1397	0.8078	1.1987	5.5283
3 月	1.3019	0.7968	1.9585	5.5750
4 月	1.2281	0.7970	2.3675	5.7261
5 月	1.1293	0.7971	2.6601	
6 月	1.0264	0.7920	3.1162	
7 月	0.9557	0.7931	2.9000	
8 月	0.9106	0.7951	3.0280	
9 月	0.8817	0.8005	3.4945	
10 月	0.8560	0.8167	4.9728	
11 月	0.8378	0.8382	5.5898	
12 月	0.8233	0.8736	5.2821	

出典：サウジアラビア中央銀行

【表 2】 月次外貨準備高

(単位：100 万 SAR)

2020 年	10 月	1,630,192
	11 月	1,668,401
	12 月	1,654,419
2021 年	1 月	1,641,173
	2 月	1,608,155
	3 月	1,637,963
	4 月	1,606,616
	5 月	1,592,909
	6 月	1,624,952
	7 月	1,608,365
	8 月	1,607,046
	9 月	1,648,094
	10 月	1,592,719
	11 月	1,644,277
	12 月	1,610,614
2022 年	1 月	1,578,820
	2 月	1,558,859
	3 月	1,596,682
	4 月	1,599,904
	5 月	1,599,597
	6 月	1,657,136
	7 月	1,647,973
	8 月	1,624,060
	9 月	1,666,702
	10 月	1,650,228
	11 月	1,677,578
	12 月	1,630,800
2023 年	1 月	1,621,343
	2 月	1,603,570
	3 月	1,549,952
	4 月	1,516,884
	5 月	*1,564,396

出典：サウジアラビア中央銀行 \*暫定値

## 2. 2023年第1四半期（1月～3月）のサウジアラビア経済（2023年6月8日更新）

- ① 第1四半期の名目 GDP は前年同期比+2.8%（前期 同+13.5%）であった。2021年第2四半期から7四半期連続で二桁の高成長率であったが、今期は大きく減速した。  
また、物価上昇要因を除いた実質ベースでも前年同期比+3.8%（前期 同+5.5%）と、8四半期連続のプラスを維持したものの、前期に引き続いて増加率が鈍化した。
- ② 経済活動分野別に見ると、名目の金額ベースで最大のセクターである原油・天然ガスが前年同期比▲12.4%であった。同分野の成長寄与度は▲3.9%で、名目 GDP の増加に対して負の効果を与えた。一方、名目 GDP の増加に貢献したセクターとしては、石油精製以外の工業（成長寄与度+1.1%）、卸売・小売業・レストラン・ホテル（同+1.1%）等が挙げられる。【表1】
- ③ 実質ベースでセクター別の成長率を見ると、石油精製が前年同期比▲7.6%だったのに対し、コミュニティー・社会サービス（+12.9%）、輸送・保管・通信（+9.3%）、卸売・小売業・レストラン・ホテル（+7.5%）では上昇が見られた。【表1】
- ④ 支出ベースで名目 GDP 構成要素の動きを見ると、総固定資本形成は前年同期比+22.3%で、うち民間は同+21.6%増加した。政府最終消費支出は同+18.3%の増加で、4四半期連続で民間最終消費支出（同+7.1%）を上回った。【表2】
- ⑤ 貿易収支（物品及びサービス）の名目 GDP への寄与度に関しては、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年第2四半期からマイナスの寄与度を示し、特に2020年第2四半期は貿易赤字だったため▲14.1%と大幅に悪化した。その後持ち直し、2021年第2四半期にプラス（+16.7%）に転換して以降はプラス二桁の寄与度が続いた。しかし、2022年第4四半期には一転+1.0%と寄与度が大幅に縮小、2023年第1四半期には▲8.0%とマイナスに転換した。【表3】
- ⑥ なお、物品に限った（サービスを除く）貿易収支に関しては、2020年第2四半期にいったん赤字となった翌期に黒字転換し、以降2023年第3四半期までは黒字幅の拡大が続いた。今期は127,142百万リヤルの黒字で、2期続けて黒字幅は縮小したが、なおコロナ感染拡大前を上回る額の貿易黒字を計上している。【表4】
- ⑦ 国際貿易統計によれば、物品貿易において、サウジアラビアの輸出先および輸入先のトップは共に中国となっている。サウジアラビアからの輸出先上位5カ国に関する輸出額、輸入額（海外拠点が生産国となる場合を除く）及び収支は【表5】の通りである。2023年第1四半期の国別貿易収支は、前年同期と比べて各国とも輸出額が減少する一方で輸入額が増加しており、黒字が大きく縮小している。



【表1】 名目 GDP のセクター別付加価値額と変化率

セクター別	名目 GDP (100 万 SAR)	名目成長率(%) (前年同期比)	実質成長率(%) (前年同期比)
1. 農業・林業・漁業	28,698	18.4	2.9
2. 鉱業・採石業	272,581	▲12.2	2.2
a) 原油・天然ガス	267,882	▲12.4	2.3
b) その他	4,699	2.2	0.2
3. 工業	157,592	8.0	▲0.4
a) 石油精製	59,682	2.1	▲7.6
b) その他	97,909	11.9	2.3
4. 電気・ガス・水	5,044	▲1.1	1.6
5. 建設業	50,497	12.7	5.5
6. 卸売・小売業・レストラン・ホテル	93,663	13.5	7.5
7. 輸送・保管・通信	52,785	10.9	9.3
8. 金融・保険・不動産・サービス業	105,330	11.5	2.8
a) 不動産	60,126	8.9	1.7
b) その他	45,204	15.2	4.2
9. コミュニティー・社会サービス	29,367	16.8	12.9
10. 政府サービス	153,523	6.4	4.9
輸入関税を除く合計	949,080	2.7	3.7
輸入関税	55,540	5.0	5.0
国内総生産 (GDP)	1,004,619	2.8	3.8

出典：サウジアラビア総合統計庁

【表2】支出ベースの名目 GDP（国内総支出）の内訳

(単位：100万 SAR)

支出項目	金額	金額 (前年 Q1)	前年同期比(%)
1 最終消費支出	594,634	536,932	10.7
a) 政府最終消費支出	205,128	173,389	18.3
b) 民間最終消費支出	389,505	363,543	7.1
2 総資本形成	308,120	260,837	18.1
a) 総固定資本形成	294,360	240,699	22.3
a-1) うち政府	18,946	14,189	33.5
a-2) うち民間	275,414	226,509	21.6
b) 在庫変動	13,760	20,138	—
国内最終需要	902,754	797,769	13.2
4 純輸出	101,866	179,695	▲43.3
a) 財・サービス輸出	351,533	383,884	▲8.4
a-1) 財 輸出	313,549	367,104	▲14.6
a-2) サービス輸出	37,984	16,780	126.4
b) 財・サービス輸入	249,667	204,190	22.3
b-1) 財 輸入	186,408	157,905	18.1
b-2) サービス輸入	63,259	46,285	36.7
国内総生産（支出ベース）	1,004,619	977,464	2.8

出典：サウジアラビア総合統計庁

【表3】名目 GDP の伸びへの貿易収支（物品&サービス）寄与度<sup>7</sup>

（寄与度を除く単位：100万 SAR）

暦年	四半期別	輸出	輸入	貿易収支	名目 GDP	前年同期比 寄与度
2019年	第1四半期	270,641	195,115	75,527	755,657	0.8%
	第2四半期	274,617	209,659	64,958	788,245	▲4.9%
	第3四半期	262,079	203,201	58,878	786,409	▲8.4%
	第4四半期	264,638	213,053	51,584	814,306	▲5.4%
2020年	第1四半期	209,559	179,237	30,322	722,187	▲6.0%
	第2四半期	123,666	169,896	▲46,229	598,321	▲14.1%
	第3四半期	165,663	155,489	10,174	699,583	▲6.2%
	第4四半期	186,791	178,567	8,224	733,427	▲5.3%
2021年	第1四半期	214,496	188,885	25,611	739,044	▲0.7%
	第2四半期	239,513	185,573	53,940	769,954	16.7%
	第3四半期	283,942	196,089	87,852	846,435	11.1%
	第4四半期	336,430	228,261	108,169	901,763	13.6%
2022年	第1四半期	383,884	204,190	179,695	977,464	20.8%
	第2四半期	453,406	259,198	194,208	1,088,078	18.2%
	第3四半期	442,823	239,842	202,981	1,066,284	13.6%
	第4四半期	378,697	261,528	117,169	1,023,733	1.0%
2023年	第1四半期	351,533	249,667	101,866	1,004,619	▲8.0%

出典：サウジアラビア総合統計庁

<sup>7</sup> 寄与度の計算は以下の通り。

$$\text{寄与度 (\%)} = \frac{\text{各構成要素データの増減 (今回値 - 前回値)}}{\text{全体データの前回値}} \times 100$$

【表4】 四半期別石油輸出額および物品貿易収支の推移

(単位：100万 SAR)

暦年	四半期	石油輸出額	物品貿易		
			輸出	輸入	貿易収支
2019年	第1四半期	189,848	249,087	132,192	116,895
	第2四半期	195,822	252,617	151,819	100,798
	第3四半期	180,005	235,874	145,452	90,422
	第4四半期	186,154	243,434	144,900	98,535
2020年	第1四半期	143,014	191,673	132,381	59,292
	第2四半期	76,492	119,656	124,849	▲5,193
	第3四半期	106,562	160,579	123,033	37,547
	第4四半期	121,531	180,044	137,229	42,815
2021年	第1四半期	147,890	208,032	139,392	68,640
	第2四半期	166,406	232,179	140,424	91,755
	第3四半期	204,204	273,593	144,756	128,837
	第4四半期	239,625	321,868	148,613	173,255
2022年	第1四半期	288,516	367,104	157,905	209,199
	第2四半期	341,618	427,803	175,354	252,449
	第3四半期	320,115	399,056	182,811	216,245
	第4四半期	276,028	347,978	195,968	152,010
2023年	第1四半期	245,401	313,549	186,408	127,142

出典：サウジアラビア総合統計庁

【表5】 2023年第1四半期（1-3月）の物品貿易における主要相手国別収支

(単位：100万 SAR)

相手国名 (輸出額順)	輸出額	輸入額	収支		
			今期	前年同期	増減率
中国	51,507	40,000	11,507	25,574	▲55.0%
日本	32,026	7,523	24,503	32,176	▲23.8%
インド	30,232	11,409	18,822	33,378	▲43.6%
韓国	27,010	5,478	21,532	32,085	▲32.9%
USA	16,504	17,102	▲598	6,922	(赤字転換)

出典：サウジアラビア総合統計庁

### 3. セクター別トピック (2023年6月11日更新)

#### (1) 石油分野

##### ① 原油価格

米国エネルギー情報局 (EIA) によれば、2023年5月の平均原油価格はWTIが1バレル\$71.58 (4月\$79.45)、ブレントが\$75.47 (同\$84.64) で、前月との比較でWTI、ブレントがそれぞれ\$7.87、\$9.17下落した<sup>8</sup>。

新型コロナウイルスの影響による2020年4月を底値を打った原油価格は、OPEC+産油国による協調減産と世界的な金融緩和の継続、更に新型コロナウイルスの感染が徐々に収まるにつれ上昇を続け、2022年3月には100ドルを突破、同年6月平均価格で、WTIで\$114.84、ブレントで\$122.71のピークを記録した。その後中国における新型コロナウイルス感染症再拡大を受けた都市封鎖などの措置により、同国石油需要の伸びが鈍化するとの懸念や、インフレ抑制を目的とした米国連邦準備制度 (FRB) による利上げ等により、米国経済への影響が懸念され油価は下落基調に転じ、2022年8月に100ドルを割り込んだ後は70ドル~90ドルの幅で上下、2023年に入ってから概ね70ドル台で推移している。

OPEC+産油国は、低迷する油価を回復させるべく2022年10月には2022年11月から翌年の2023年12月末まで2022年10月生産量比で200万b/dの減産に合意、更に2023年4月には、5月から12月までの期間、合計166万b/dの自主的な追加減産を行なうことを発表した。これにより原油価格は一時80ドルを超えたが、その後も油価は低迷を続けたため、OPEC+産油国は、6月4日、現行の協調減産期限を2023年末までから2024年末までに延長するとともに、足元の生産能力を反映して2024年の生産割当を調整することで合意。サウジアラビア、UAE、イラク、クウェート、オマーン、およびアルジェリアは4月に発表した自主的追加減産措置を2024年末まで延長することとし、更にサウジアラビアは2023年7月から1カ月間、日量100万バレルの追加減産をすると発表した。これに対する市場の反応は弱く、原油価格は依然として70ドル台の下の方で推移している。

##### ② 原油輸出量・生産量

Joint Organization Data Initiative (JodiOil) によれば2023年3月のサウジアラビア原油輸出量は2月の輸出量745万5千バレル(b/d)から6万8千バレル増加し、752万3千バレル(b/d)であった。原油輸出 (752万3千バレル(b/d)) と石油製品輸出 (147万2千バレル(b/d)) の合計は899万5千バレル(b/d)となり、前月合計892万9千バレル(b/d)より6万6千バレル(b/d)の増加となった。なお、原油生産量は1,046万4千バレル(b/d) (前月1,045万バレル(b/d)) と微増となった<sup>9</sup>。

---

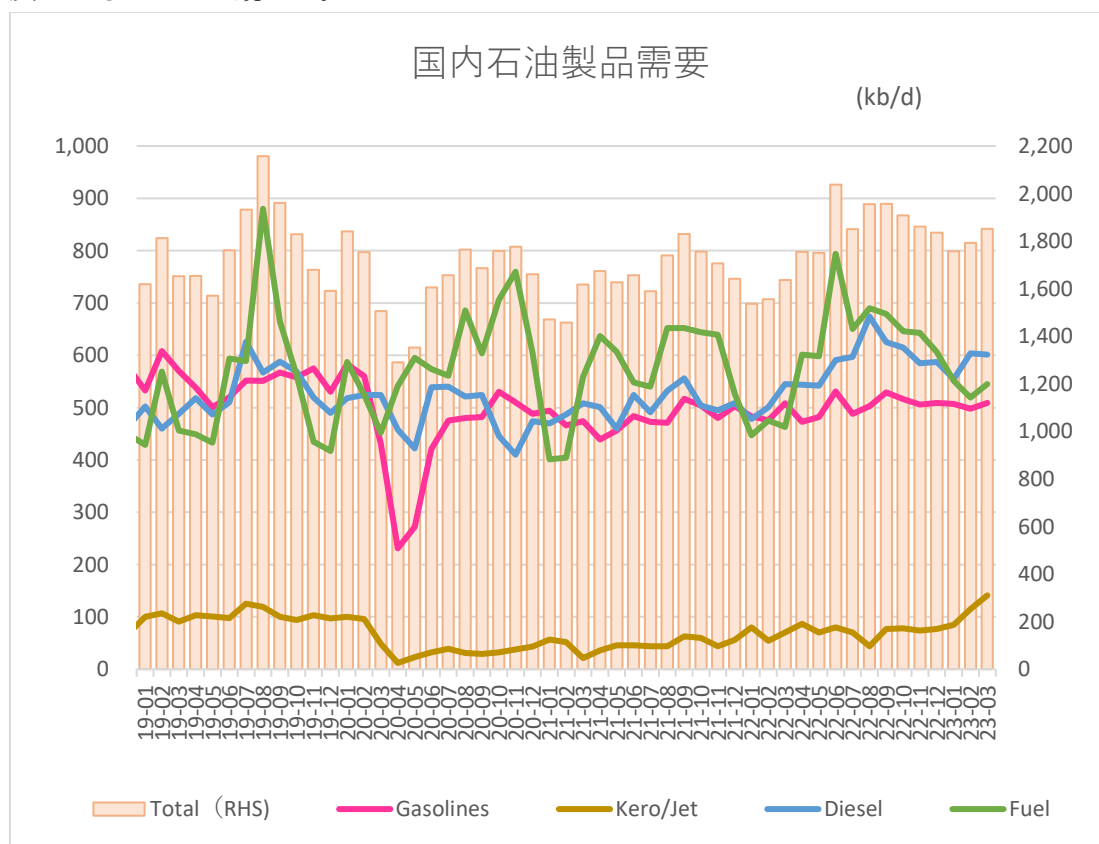
<sup>8</sup> U.S. Energy Information Administration (EIA) [https://www.eia.gov/dnav/pet/pet\\_pri\\_spt\\_s1\\_m.htm](https://www.eia.gov/dnav/pet/pet_pri_spt_s1_m.htm)

<sup>9</sup> JodiOil <https://www.jodidata.org/oil/database/country-by-country-review.aspx>

### ③ 国内石油製品需要 (LPG/Gasolines/Kerosene/Gas-Diesel Oil/Fuel Oil)

2023年3月のサウジアラビアの国内石油製品の需要は185万2千バレル(b/d)となり、前月(179万3千バレル(b/d))から5万9千バレル(b/d)増加、2カ月連続の増加となった。前年同月(163万6千バレル(b/d))との比較では21万6千バレル(b/d)の増加となった。LPG需要は5万6千バレル(b/d)となり前月値5万7千バレル(b/d)より1千バレル(b/d)減少した。ガソリン需要は50万9千バレル(b/d)となり前月値49万8千バレル(b/d)から1万1千バレル(b/d)増加した。ケロシン需要は14万1千バレル(b/d)となり前月値11万5千バレル(b/d)より2万6千バレル(b/d)増加した。ディーゼルの需要は60万1千バレル(b/d)(前月60万4千バレル(b/d))と3千バレル(b/d)減となり、また、重油の需要に関しては、前月需要の51万9千バレル(b/d)に対し3月は54万5千バレル(b/d)と2万6千バレル(b/d)増加した。

2020年2月以降合計180万バレル(b/d)をずっと下回ってきた国内石油製品需要の回復ぶりは、以下グラフを見ても明らかで、200万バレル(b/d)を超えた2022年6月以降、足元まで概ね180万バレル(b/d)以上で推移している。過去2年を見ても冬場には石油製品需要は下がっていたが、今年に関しては、ほとんど下がっておらず、特にケロシンの需要増加傾向が顕著で、航空機燃料の需要が新型コロナウイルスの感染以前の水準に戻ってきたことが窺える。



出典：JodiOil、OPEC Monthly Oil Market Report

(2) 水分野

① 主要プロジェクトの状況

現在入札関連の情報がある IWP (Independent Water Plant)の状況は表 1 の通り。

【表 1】 現在進行中の新規 IWP の状況

更新日	プロジェクト名	造水量 (m <sup>3</sup> /日)	COD (年)	状況
2023/5/24	Neom IWP	500,000	2025	RFQ が発行された。本プロジェクトは OXAGON サイトに建設され、再生可能エネルギーによって賄われる。造水過程でのゼロ液体排出と結びついていてブライン処理機能と統合されるが、ブライン管理自体はこの契約に含まれない。
2023/04/20	Jazan 1 IWP	300,000		National Center for Privatization & PPP が 2036 年 3 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/13	Rabigh 4 IWP	600,000	2026	25 年間の BOO 契約。ACWA Power/HAACO/Almoayyed からなる企業連合が SWPC との売買契約に署名した。平均価格は SAR1.7162/m <sup>3</sup> (\$0.46/m <sup>3</sup> )であるとみられる。
2023/04/06	Ras Al-Khair 3	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2024 年 4 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Ras Al-Khair 2	600,000		National Center for Privatization & PPP が 2024 年 2 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Shuqaiq 4 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2025 年 7 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Rayyis 2 IWP	300,000		National Center for Privatization & PPP が 2035 年 6 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Tabuk 1 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2025 年 3 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。

2023/04/06	Rabigh 5 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2027 年 4 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/1/26	Jubail 4 & 6 IWP	600,000		入札参加資格申請が 2023 年 2 月 21 日締切にて発行された。2023 年 1 月時点では下記 35 社が関心を示している。1) Abengoa; 2) Acciona; 3) ACWA Power; 4) Ajlan & Bros; 5) Al Kawther Industries; 6) Al Shalawi; 7) Al Sharif Group; 8) Alfanar; 9) Alghanim International; 10) Aljomaih; 11) Awad Saad Binzafrah Contracting; 12) Buhur for Investment; 13) China First Heavy Industries International; 14) Elecnor Group; 15) Engie; 16) Fas Energy; 17) Fisia; 18) GS Inima; 19) Hainan Litree; 20) Kindasa; 21) Lantania; 22) Marafiq; 23) Marubeni; 24) Metito; 25) Mowah; 26) Nesma; 27) Orascom; 28) Saleh Saeed Taishan and Sons; 29) Saudi Pan Kingdom Company; 30) Shapoorji Pallonji; 31) Taqa; 32) Utico; 33) VA Tech Wabag; 34) Veolia; 35) Vishvaraj Environment。KPMG (財務、情報)、Eversheds Sutherland (法務)、WSP (技術) で構成されるアドバイザリーチームがプロジェクトについてクライアントにアドバイスしている。
2023/01/06	Jafurah desalination project	80,000		Mowah(開発)と Lamar Holding(投資)からなるチームが契約を獲得した。中国企業の SEPCO が EPC を請け負い、海淡エレメントの納入も行うとみられている。また三井住友銀行は、本件を含む独立した公益事業スキームについて Aramco に助言している。



2022/12/6	Ras Mohaisen	300,000	2026 Q3	RFP（提案依頼書）が発行された。参加承認企業は下記 10 チーム。 1) Acciona; 2) ACWA Power; 3) Aqualia; 4) Cobra; 5) Engie; 6) Malakoff/Kindasa; 7) Marafiq/Alfanar; 8) 丸紅; 9) Rawafid; 10) Utico/Mowah。KPMG（財務、情報）、Eversheds Sutherland（法務）、WSP（技術）で構成されるアドバイザリーチームがプロジェクトについてクライアントにアドバイスしている。
2022/05/19	Khobar 3 SWRO	545,000		2023 年第一四半期に EPC 契約につき入札実施されるものとみられている。
2022/05/19	Shoaiba 6 SWRO	545,000		2022 年第二四半期に EPC 契約につき入札実施されるものとみられている。
2022/05/19	Yanbu 2 SWRO	500,000		2023 年第一四半期に EPC 契約につき入札実施されるものとみられている。

出典：Global Water Intelligence

## ② 水関連ニューズピックアップ

### ➤ Saudi extends wastewater bid deadline

SWPC (Saudi Water Partnership Company)はリヤドで提案されている Al-HaerISTP (独立下水処理場) プロジェクト開発についての入札終了日を 5 月 25 日から 6 月 5 日に延長した。SWPC は昨年、以下の企業に入札参加資格を認定している。

Abdul Aziz al-Ajlan Sons Company for Commercial & Real Investment – Ajlan & Bros (サウジアラビア)

Acciona Agua (スペイン)

International Water Distribution Company (Tawzea, サウジアラビア)

Tamasuk Holding Company / AlBlagha Group Company (サウジアラビア)

Alfanar Company (サウジアラビア)

China Gezhouba Group Overseas Investment Company (中国)

Civil Works Company (サウジアラビア)

Cobra Instalaciones y Servicios (スペイン)

Sete Energy Saudia for Industrial Projects (サウジアラビア)

GS Inima Environment (スペイン)  
Metito Utilities (UAE)  
Miahona Company (サウジアラビア)  
Besix Sharjah (UAE)  
Mowah Company (サウジアラビア)  
Saur (フランス)  
Power & Water Utility Company for Yanbu and Jubail (Marafiq, サウジアラビア)  
S.A. de Obras y Servicios, Copasa Group (スペイン)  
Suez International (フランス)  
Utico (UAE)  
Alkhorayef Water & Power Technologies Company (サウジアラビア)  
China Everbright Water Investment (中国)  
Jinluo Water Company – Dubai (UAE)  
Lamar Saudi United Holding (サウジアラビア)  
Vishvaraj Environment Private (インド)  
[2023/05/30 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ **Neom seeks contractors for Red Desert Tunnel**

Neom とその水道・電力会社である Enowa は、新しい送水管を収める長さ 16km のトンネルシステムの建設について関心表明依頼を発行した。

[2023/05/30 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ **ACWA Power and Nanostone partner to develop next generation desalination technology**

ACWA Power はキングアブドラ科学技術大学(KAUST)で研究開発と知識移転を行う中で、海淡アプリケーションにおける Nanostone の UF セラミック膜とプロセス技術の評価するため Nanostone Water Inc.(米)と覚書を締結した。

[2023/05/28 smart water magazine](#)

➤ **Saudi Arabia megaprojects: 15 massive developments in the making**

サウジアラビアは総額数十億ドルにおよぶ数々のメガプロジェクトへの投資により経済を多角化し、雇用を創出し、貿易と観光の大きなハブとしての国際的な地位を高めて世界経済大国に変貌するべく野心的な計画を立てている。

[2023/05/28 Construction Week](#)

➤ **Egypt, Saudi Arabia unveil plan to build 'artificial river' longer than the Nile**

サウジアラビアとエジプトは、ナイル川よりも長い「人工河川」を建設する計画があることを明らかにした。

[2023/05/25 THE BUSINESS STANDARD](#)

➤ **Saudi's \$6.7bn water transmission plan accelerates**

WTTCO は将来の需要を満たし、飲料水の供給を改善する計画の一環として総額 250 億リヤル(67 億ドル)に上る新規の送水プログラムを計画している。

[2023/05/25 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ **Coal could become a valuable solar desalination material**

キングアブドラ科学技術大学(KAUST)の Andrea Fratolocchi の長年の研究により、微粉体にした石炭の圧縮ブロックを用いることで太陽光を用いたオフグリッドの浄水が可能になることがわかり、現在パイロット規模での飲料水生産に向けて商業パートナーとの検討が進んでいる。石炭に含まれる 2 つの種類タンパク質が太陽光を吸収することで海水の淡水化を促すというもの。

[2023/05/23 Saudi Gazette](#)

➤ **Neom to tender desalination plant**

Neom の子会社である Enowa、伊藤忠、フランスの Veolia で構成されるコンソーシアムは、Neom で計画されているゼロ液体排出(ZLD)海淡プラントの EPC について近く入札を実施する予定。投資規模は 15~20 億ドルに上るとみられ、これは昨年 12 月にこの 3 社で結んだ共同開発契約に伴うもの。また昨年 6 月に伊藤忠、Veolia と開発産業クラスターの Oxagon が再生可能エネルギーによる海淡プラント開発のための MoU を締結していた。

[2023/05/01 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ **Neom launches brine-friendly desal projects as circular water plans come together**

Neom はブラインマネジメント技術開発のハブとなることを目指しており、請負業者に大規模な海淡プロジェクトに取り組むよう呼びかけた。500,000m<sup>3</sup>/日の容量におよぶ巨大海淡プラントは Veolia、伊藤忠とともに開発しており、この企業連合は今月、海洋取水および排出システムを含む海淡プロジェクトの EPC 契約についての提案依頼を発行した。このプラントは液体排出ゼロにて運営される。

[2023/05/18 GWI \(有料会員限定\)](#)

- **NWC in Saudi Arabia awards ILF a \$1.3 billion urban water supply program**  
NWC (National Water Company)は今後東部地域の飲料水水質の改善に焦点を当てた重要なプログラムのプロジェクトの管理、建設監督および設計レビューサービスの提供を受けるべく ILF Consulting Engineers と契約を結んだ。  
[2023/05/03 smart water magazine](#)
  
- **Saudi Shuqaiq 3 SWRO awarded Desalination Plant of the Year**  
世界水サミットアワードにて5月9日に Shuqaiq 3 は高いエネルギー効率が評価され、海淡プラントオブザイヤーを受賞した。  
[2023/05/16 smart water magazine](#)
  
- **Saudi Arabia's SWPC Issues Request For Proposals For Sewage Treatment Plant**  
SWPC は「Jazan クラスターの小型下水処理場(SSTP)および回収ネットワーク」プロジェクト開発のための提案依頼書(RFP)を公開した。  
[2023/05/03 ZAWYA](#)  
[2023/05/08 Thirty One Net Zero](#)
  
- **Webuild unit secures \$439mln Saudi water project contracts**  
Webuild Group(旧 Salini Impregilo Group)の子会社である Fisia Italimpianti は、Zuluf 陸上石油施設内の水処理プラントの建設と管理について合計 408 百万ユーロ(439 百万ドル)に上る 2 つの契約を獲得した。  
[2023/05/11 ZAWYA](#)  
[2023/05/05 Saudi Gulf Projects](#)
  
- **Seven Factors Help Saudi Water System Achieve Record Results**  
サウジ政府は、水戦略が Vision2030 の目標に沿って記録的な成果を上げたと発表した。戦略的貯水量は 2016 年の 1,360 万立方メートルから 2,180 万立方メートルへと 60.2 パーセント増加させることに成功した。また環境・水・農業省は電子メーターを 11 万 6,000 台設置し、合計は 220 万台となった。  
[2023/05/09 AAWSAT](#)
  
- **Saudi's NWC expected to award water purification plant project in Q3**  
NWC は 2023 年の 3Q までに Tabuk 州 Qulaybah の飲料水用の浄水プラントプロジェクト EPC 契約を締結する予定。入札プロセスは既に進行しており、2023 年 7 月に結果が判明することになる模様。  
[2023/05/08 ZAWYA](#)

➤ **SWCC Achieves Guinness Record For Lowest Energy Consumption in Desalination**

SWCC (The Saline Water Conversion Corporation)は最も少ないエネルギー消費量での海水淡水化の実現でギネス世界新記録を達成し、海淡における生産能力、エネルギー消費および革新と研究において世界をリードする存在となった。2017年から2022年の間にSWCCは生産能力を35%増加させ、1日当たり620万m<sup>3</sup>の造水を達成している。

[2023/05/03 THIRTY T NET ZERO](#)

③ **ギガプロジェクト関連**

➤ **Diriyah in deal to develop premier Saudi tourism destinations**

リヤド郊外のサウジアラビアの地デイルイーヤのツーリズム開発を進める Diriyah Company (旧称 Diriyah Gate Development Authority) はアジアや欧米での高級リゾートホテルチェーン事業を展開する Aman Group と提携しデイルイーヤでの超高級リゾートホテル・住宅開発を行う。

[2023/4/27 ZAWYA](#)

➤ **Agreement signed to establish first integrated steel plate manufacturing complex in Saudi Arabia**

アラムコ、中国の宝山鋼鉄 (Baoshan Iron & Steel Co. - Baosteel)、PIF の三者は宝山鋼鉄が有する鋼板製造技術を導入して年間生産能力150万トンの極厚鋼板製造の複合施設を Ras Al-Khair 工業都市に建設することに合意した。

[2023/5/1 Saudi Gazette](#)

➤ **PIF invests in DigitalBridge to set up data centers across Saudi Arabia and GCC**

PIF はアメリカ企業 DigitalBridge 社とデータセンター開発やデジタル・インフラ分野における投資提携に合意した。サウジアラビアや GCC におけるハイパー・スケールのデータセンターやデータベース開発に関する知識・技術移転を行う。

[2023/5/24 Arab News](#)

➤ **Saudi's PIF signs deal to buy stake in Middle East Paper**

PIF はボール紙、板紙製造企業 Middle East Paper Company (MEPCO) と MEPCO 株式取得に関わる Non-binding MOU を締結した。PIF が MEPCO 株を1株 SR31.5 (\$8.4) で取得するもので取得株数は未公表だが“significant minority stake”とのこと。

[2023/5/8 ZAWYA](#)

➤ **Neom plans 150 hotels for The Line**

2030年までに年間5百万人の観光客を目標としている Neom は紅海岸からタブークに至る延長170kmの“The Line”を中心に200カ所のホテル建設を計画している。

[2023/5/10 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Riyadh Bank partners with NEOM to provide \$800m finance for Sindalah island**

リヤド銀行は Neom 最初の高級観光開発プロジェクト“Sindalah 島開発プロジェクト”への融資30億リヤル(8億ドル)を決定した。大型ヨットハーバーなどを備えた同プロジェクトでは観光、ホテル、レジャーなど3,500人の雇用創出効果が見込まれており2024年初めに観光客受け入れ開始を予定している。

[2023/5/15 Arab News](#)

➤ **Neom tenders rolling stock for high-speed rail**

Neom は“The Line”沿いに Oxagon 工業都市までの高速旅客・貨物鉄道用の車両と電化・信号・制御システムの納入契約入札を始めた。入札締切りは今年10月で Alstom (仏)、日立レール、シーメンス(独)、Talgo (スペイン) などが入札に参加するとみられる。

[2023/5/16 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Riyadh starts next phase of metro project**

リヤド市王立委員会(Royal Commission for Riyadh City) はリヤドの地下鉄プロジェクト“Riyadh Metro”の新路線 Line 7 建設工事入札の資格審査を始めた。Line 7 は Diriyah Gate、King Salman Park、キングハーリド国際空港を経てリヤド南西部に建設予定の Qiddiya までの路線として計画されている。

[2023/5/16 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Saudi: SPPC signs power purchase agreements for three new solar energy projects**

Saudi Power Procurement Company は PIF の子会社 Water & Electricity Holding Company (Badeel) と ACWA Power のコンソーシアムが行う太陽光発電プロジェクト3件(Ar Rass 2、Saad 2 および Al Kahfa、総発電能力4,550 MW)からの電力購入契約を締結した。

[2023/5/22 ZAWYA](#)

➤ **PIF invests in DigitalBridge to set up data centers across Saudi Arabia and GCC**

PIF はアメリカ企業 DigitalBridge 社とデータセンター開発やデジタル・インフラ分野における投資提携に合意した。サウジや GCC におけるハイパー・スケールのデータセンターやデータベース開発に関する知識・技術移転を行う。

[2023/5/24 Arab News](#)

➤ **Saudi PIF founds \$3bln Saudi-Iraqi Investment Company**

サウジで開催中の“Saudi-Iraqi Coordination Council”で PIF は新たに設立する Saudi-Iraqi Investment Company を通じてイラクにおけるインフラ、鉱業、農業、不動産開発、金融サービスなどの産業分野への投資を行うことを発表した。

[2023/5/25 ZAWYA](#)

➤ **Saudi and Chinese firms plan \$500m PV wafer factory**

Vision Industries と中国の TCL Central New Energy Technology Company はサウジ初の太陽電池結晶チップ製造施設建設の共同事業契約タームシート（契約条件規定書）に署名した。インゴットおよびウェーハ製造プロジェクトの第 1 期計画では 5 億ドルを投じて 150mm～200mm のミクロンウェーハを製造する。また、両社は Neom の OXAGON での風力発電用タービン製造施設建設計画についても協議している。

[2023/5/30MEED（有料会員限定）](#)

➤ **Hitachi Energy wins 3GW Oxagon-Yanbu connector**

日立エネルギーは Neom のユーティリティ子会社 ENOWA への高電圧直流送電システム 3 系統（最大送電能力 9GW）の EPC 契約を Saudi Electricity Company から受注した。

[2023/5/31MEED（有料会員限定）](#)

以上